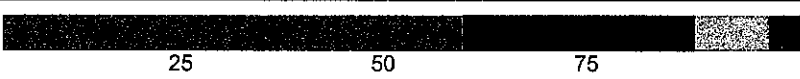


令和7年度 学校評価

【児童アンケート】

評価項目	4	3	2	1	成果・課題・反省点・改善策等
1 私は学校に行くのが楽しいです	65.0%	27.0%	5.0%	3.0%	肯定 90.0% (92.0) () は昨年度 否定 10.1% (8.0) わずかではあるが、昨年度よりも肯定的な回答が減少しているが、児童への支援が成果を出している。
	25	50	75		
2 私は学校での勉強がわかります	48.2%	37.7%	12.3%	1.8%	肯定 85.4 % (85.9) 否定 14.6 % (14.1) 昨年度より学校の勉強がわかると答えている児童が減少している。授業改善や個別最適な学びの工夫が必要。
	25	50	75		
3 私は友達や先生の話をしっかり聞いています	45.2%	43.4%	9.8%	1.6%	肯定 87.7 % (88.6) 否定 12.3 % (11.4) 話をしっかり聞く児童も昨年度より減少している。聞く指導は教育の基本であるので、強化していく。
	25	50	75		
4 私は自分の意見や考えを发表しています	35.2%	30.5%	23.4%	10.9%	肯定 61.5 % (65.7) 否定 38.5 % (34.3) 本校の課題である意見や考えの表出がさらに減少している。学校全体で共通実践しながら高める必要がある。
	25	50	75		
5 私は学校の決まりややくそくを守っています	50.5%	40.2%	7.3%	2.0%	肯定 86.7 % (90.7) 否定 13.3 % (9.3) 昨年度より、肯定的な回答が減少している。継続指導していく。
	25	50	75		
6 私は進んであいさつができています	57.5%	29.1%	9.1%	4.3%	肯定 87.7 % (86.6) 否定 12.3 % (13.4) 肯定的な回答が増加がしている。あいさつ指導の工夫が成果を出している。
	25	50	75		
7 私はいじめをせず、思いやりの心で友達に接しています	62.0%	31.1%	5.2%	1.6%	肯定 92.5 % (93.1) 否定 7.5 % (6.8) 肯定的な回答が減少している。いじめに関しては100%に近づける指導が必要。
	25	50	75		
8 学校では、授業でわからないところを丁寧に教えてくれます	60.9%	28.9%	7.0%	3.2%	肯定 90.5 % (89.8) 否定 9.5 % (10.2) 肯定的な回答が増加している。授業改善や個別最適な学びの工夫が成果を出している。
	25	50	75		
9 学校では、自分がいいことをしたり、がんばったりしたことをほめてくれます	56.1%	32.7%	8.9%	2.3%	肯定 86.2 % (88.8) 否定 13.8 % (11.2) 肯定的な回答が減少。担任の児童一人一人の実態把握とのきめ細やかな対応、声かけが必要である。
	25	50	75		
10 学校では、自分の意見を聞いてくれたり相談に乗ってくれたりします	59.3%	29.8%	7.5%	3.4%	肯定 89.5 % (89.1) 否定 10.5 % (10.9) 肯定的な回答が微増している。児童と向き合う時間の確保や対応の仕方を考えていく。
	25	50	75		
11 学校では、いじめをしてはいけない、思いやりの心を大切にすることについて学習しています	76.6%	18.2%	4.3%	0.9%	肯定 94.0 % (94.8) 否定 6.1 % (5.2) 肯定的な回答が減少している。いじめについての学習は継続強化。
	25	50	75		

12 学校では 将来の夢や希望について話し合ったり、考えたりしています	60.0%	26.6%	8.4%	5.0%	肯定 86.4 % (86.6) 否定 13.5 % (13.4) 肯定的な回答が減少している。キャリア教育について自覚を促す指導が必要。
	25	50	75		

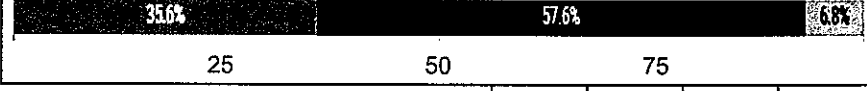
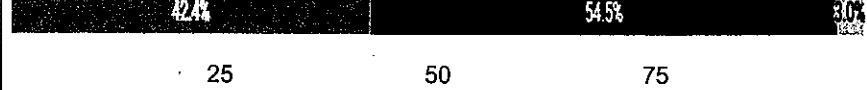
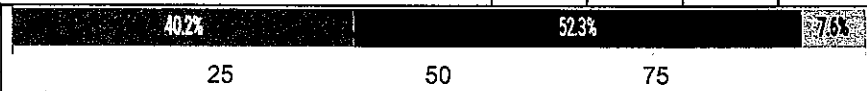
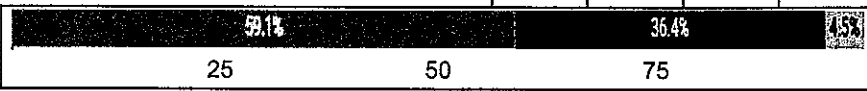
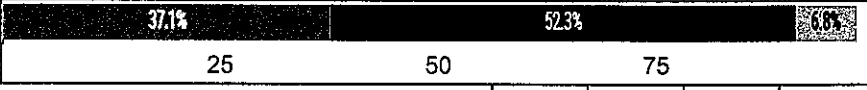
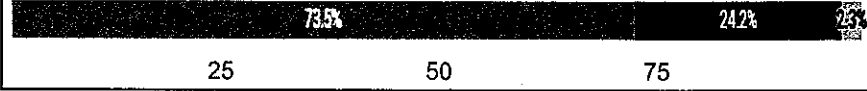

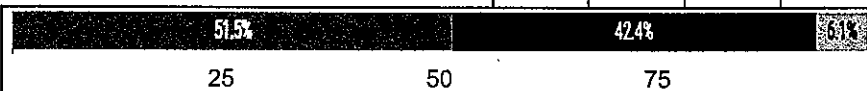
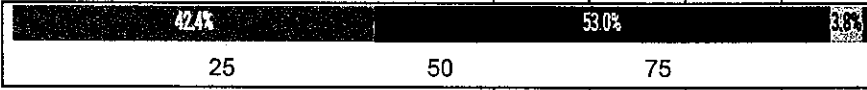

【全体考察】

全体的には肯定的な結果が得られている。しかし、昨年度と比較すると一部の項目では肯定的回答が伸び悩んでいることから、各設問に関わる指導について、さらなる工夫と強化が必要であると捉えられる。一方で、全体の多くの項目において肯定的回答は概ね85%以上を達成している。特に、「私は進んであいさつができています」（設問6）や、「学校では、授業で分からないところをていねいに教えてくれると感じている」（設問8）については、前年度より数値が上昇している。これらは、担任をはじめとする教職員が、児童一人一人に丁寧に向き合い、適切な言葉かけや関わりを継続してきた成果であると考えられる。また、全教職員が協働し、児童がいきいきと活躍できる場を工夫・設定してきたことが、「学校が楽しい」と感じる児童の増加につながっているものと捉えられる。

一方、最も大きな課題は、「自分の意見や考えを発表すること」（設問4）であり、肯定的回答が7割に満たない結果となっている。今後は、本校児童の重点的な課題として位置付け、校内研究を中心とした授業改善を進める中で、対話や発表を重視した指導の工夫に継続して取り組む必要がある。引き続き、全校体制による組織的な共通実践を図り、学習指導の一層の工夫・改善に努めていく。

令和7年度 学校評価

—【保護者アンケート】

評価項目	4	3	2	1	肯定と否定の割合 ※()は昨年度
1 学校は、よく考え自ら学ぶ子を育成している	35.6%	57.6%	6.8%	0.0%	肯定 93.2% (94.8) 否定 7.1%(5.2)
	25	50	75		
2 学校は、豊かな心な子を育成している	42.4%	54.5%	3.0%	0.0%	肯定 96.9%(92.6) 否定 3.1% (7.4)
	25	50	75		
3 学校は、たくましく生きる子を育成している	40.2%	52.3%	7.6%	0.0%	肯定 92.5%(90.4) 否定 7.9%(9.6)
	25	50	75		
4 学校は、保護者・地域と連携し開かれた学校をつくっている。(学校行事・学校だより・学校HP・各種たより等を通して)	59.1%	36.4%	4.5%	0.0%	肯定 95.5%(96.3) 否定 4.7%(3.7)
	25	50	75		
5 学校は、特色ある教育活動を行っている	37.1%	52.3%	6.8%	0.0%	肯定 89.3%(91.8) 否定 6.8%(8.1)
	25	50	75		
6 学校は、分かりやすく楽しい授業づくりに努めている	73.5%	24.2%	2.3%	0.0%	肯定 97.7%(93.3) 否定 2.3%(6.7)
	25	50	75		
7 学校は、児童理解に努め、思いやりと温かさのある指導を行っている	49.2%	48.5%	2.3%	0.0%	肯定 97.7%(91.1) 否定 2.3%(8.9)
	25	50	75		
8 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	51.5%	42.4%	6.1%	0.0%	肯定 93.9%(88.1) 否定 6%(11.8)
	25	50	75		
9 学校は、子どものことについて相談に応じてくれる	42.4%	53.0%	3.8%	0.8%	肯定 95.4%(94.8) 否定 4.5%(5.1)
	25	50	75		
10 学校は、安全に対する意識を育てている。(安全な遊び・交通安全・不審者対応・避難訓練等)	51.5%	43.9%	4.5%	0.0%	肯定 95.4%(93.3) 否定 4.5%(6.6)
	25	50	75		

11 学校は、施設・設備の整備や環境整備を行い、事故防止に配慮している	61.4%	38.6%	0.0%	0.0%	肯定 100%(93.3) 否定 0%(6.6)
25		50		75	
12 お子さんは、学校生活を楽しく過ごしている	53.8%	42.4%	3.8%	0.0%	肯定 96.2%(98.5) 否定 3.7%(1.5)
25		50		75	
13 お子さんは、家庭学習が習慣化している	65.2%	32.6%	0.8%	1.5%	肯定 97.7%(88.8) 否定 2.2%(11.1)
25		50		75	
14 お子さんは、望ましい生活リズム（早寝・早起き・朝ごはん）が定着している	51.5%	33.3%	14.4%	0.8%	肯定 84.8%(92.5) 否定 15.1%(7.4)
25		50		75	
15 お子さんは、基本的なあいさつができています	57.6%	32.6%	9.1%	0.8%	肯定 90.1%(87.4) 否定 9.8%(12.6)
25		50		75	
16 お子さんは、好き嫌いせず食べる習慣ができています	49.2%	42.4%	8.3%	0.0%	肯定 91.6%(77.7) 否定 8.3%(22.7)
25		50		75	
17 お子さんは、日頃から運動を通して体力を高めている	46.2%	36.4%	14.4%	3.0%	肯定 82.6%(74.1) 否定 17.5%(26)
25		50		75	
18 あなたは、PTA活動・学校行事・授業参観に積極的に参加し、学校に支援・協力している	43.9%	34.8%	20.5%	0.8%	肯定 78.7%(79.2) 否定 21.2%(20.7)
25		50		75	

今回の保護者アンケートの結果から、本校の教育活動に対する評価は、全体として非常に高い水準にあることが明らかとなった。特に、「分かりやすく楽しい授業づくり」や「児童理解に基づいた温かい指導」、「安全に対する意識づけ」など、学校が重点的に取り組んできた分野において高い評価が得られており、教職員の日々の実践が保護者に十分伝わっていることがうかがえる。また、「施設・設備の整備や環境整備」（100%）では前年度から大きな改善が見られ、継続的な取組の成果が評価として表れている。学校教育目標の三つの柱についても、いずれも肯定率が9割を超えており、本校の教育方針が児童の成長につながっていると保護者が実感していることが読み取れる。さらに、「開かれた学校づくり」や「相談への対応」でも高い評価が得られ、学校と家庭との信頼関係が良好に築かれている点は本校の強みである。

一方で、「生活リズムの定着」や「運動を通じた体力づくり」など、家庭と連携して取り組む生活習慣に関わる項目では、引き続き改善の余地が見られる。今回の結果を踏まえ、学校・家庭・地域が連携し、児童一人一人の健やかな成長を支える教育環境の充実を図ってきたい。